



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空
コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,976	39.0	599	543.0	579	745.2	565	731.2
27年3月期第2四半期	3,581	54.2	93	—	68	—	68	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 577百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	91.85	—
27年3月期第2四半期	11.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年3月期第2四半期	12,016	—	6,232	—	51.9	—	1,011.97	
27年3月期	9,824	—	5,778	—	58.8	—	938.24	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,232百万円 27年3月期 5,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(平成27年11月10日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	27.9	1,030	102.9	1,000	70.1	970	77.9	157.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年11月10日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,499,000 株	27年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	340,242 株	27年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,158,758 株	27年3月期2Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、中国市場に対する警戒感が強まり、市場ごとに好不調が混在する状況であったものの、円安基調の継続などを背景とした堅調な企業業績もあり、緩やかな回復基調が続きました。世界経済については、米国景気に支えられ全体としては底堅さが見られましたが、欧州金融不安に加え、中国を中心にアジア全般で成長が鈍化していることなどから先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主にスマートフォン関連の需要が好調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を牽引しました。特に圧電部品に関する設備投資が積極的に展開されました。また、デバイスメーカー各社の次世代製品に向けた取り組みが継続いたしました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え拡販に注力するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓にも継続性を持って推進してまいりました。また、次世代製品に向けたデバイスメーカーからの依頼実験への対応や製品開発にも積極的に取り組んでまいりました。

生産面では、好調な受注を背景に生産量が増加し稼働率が向上しました。また、メンテナンス性の改善や社内検査の強化による品質向上を継続してまいりました。

損益面では、量産効果や稼働率の向上による原価低減効果に加え、グループ一丸となって取り組んでいるコストダウン推進などにより利益率の大幅な改善が進みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高56億34百万円(前年同四半期比41.9%増)、売上高49億76百万円(同39.0%増)となりました。

損益につきましては、経常利益5億79百万円(前年同四半期比745.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億65百万円(同731.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、主にスマートフォン向け電子部品製造用の設備投資が好調に推移いたしました。

受注高は47億37百万円(前年同四半期比55.0%増)、売上高は40億79百万円(同52.9%増)、セグメント利益は8億19百万円(同232.8%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、主に周波数調整工程向けの最新装置の拡販を推進してまいりましたが、設備投資に対する力強さに欠ける状況で推移いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は4億83百万円(前年同四半期比20.8%減)、売上高は7億75百万円(同18.7%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、主にマイクロレンズ向け反射防止膜成膜用装置の受注が堅調に推移いたしました。受注競争が激しい中、地道な営業活動を展開し利益確保に努め他結果、前年同四半期に比べ相対的に国内向け設備投資案件が増加傾向となりました。

光学装置の受注高は9億15百万円(前年同四半期比31.7%減)、売上高は9億22百万円(同34.5%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、スマートフォン向け圧電部品の製造用装置受注が好調に推移するとともに、納入も順調に進みました。また、既存技術応用分野及び新規市場の開拓について継続して推進してまいりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は33億38百万円(前年同四半期比202.0%増)、売上高は23億81百万円(同292.3%増)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する当社装置の稼働状況の定期的な確認を励行するとともに、生産終了に伴うサポート終了品及び更新機種のご案内などを積極的に行い、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めてまいりました。

サービス事業の売上高は8億96百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント利益は1億97百万円(同4.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は89億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億70百万円増加しました。これは主に現金及び預金が7億44百万円、受取手形及び売掛金が10億48百万円、仕掛品が3億62百万円増加したことによるものです。固定資産は31億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加しました。これは主にソフトウェア仮勘定が14百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は120億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億92百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は52億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億29百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が14億66百万円、1年内償還予定の社債が8億円、1年内返済予定の長期借入金が2億円増加したことによるものです。固定負債は5億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億91百万円減少しました。これは主に社債が8億円、長期借入金が2億円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は57億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億37百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は62億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円増加しました。これは主に利益剰余金が4億42百万円増加したことによるものです。

負債も増加した結果、自己資本比率は51.9%(前連結会計年度末は58.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年8月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成27年11月10日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,436,639	2,181,462
受取手形及び売掛金	2,600,563	3,649,562
商品及び製品	5,242	4,296
仕掛品	2,290,303	2,653,107
原材料及び貯蔵品	200,230	183,706
繰延税金資産	57,863	113,835
その他	179,985	148,861
貸倒引当金	△34,000	△28,000
流動資産合計	6,736,829	8,906,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,292	708,966
機械装置及び運搬具(純額)	77,586	63,874
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	59,913	100,830
有形固定資産合計	2,930,042	2,939,921
無形固定資産		
リース資産	11,661	9,858
ソフトウェア仮勘定	14,000	28,400
その他	26,186	25,484
無形固定資産合計	51,847	63,743
投資その他の資産		
投資有価証券	100,735	100,330
その他	4,646	5,543
貸倒引当金	△19	△211
投資その他の資産合計	105,362	105,662
固定資産合計	3,087,252	3,109,327
資産合計	9,824,081	12,016,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,610,481	3,076,784
短期借入金	156,441	197,572
1年内返済予定の長期借入金	-	200,000
1年内償還予定の社債	-	800,000
リース債務	13,176	17,050
未払費用	179,831	157,763
未払法人税等	29,859	82,644
賞与引当金	123,754	215,041
役員賞与引当金	41,000	-
製品保証引当金	108,000	106,000
工事損失引当金	63,600	61,880
その他	147,298	288,525
流動負債合計	2,473,444	5,203,263
固定負債		
社債	800,000	-
長期借入金	200,000	-
リース債務	35,291	44,509
繰延税金負債	21,730	22,698
退職給付に係る負債	435,598	433,425
長期末払金	75,401	75,546
その他	4,250	4,250
固定負債合計	1,572,271	580,428
負債合計	4,045,716	5,783,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	942,593	1,385,120
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,595,582	6,038,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,613	39,340
為替換算調整勘定	150,774	165,248
退職給付に係る調整累計額	△7,603	△10,230
その他の包括利益累計額合計	182,783	194,358
純資産合計	5,778,365	6,232,467
負債純資産合計	9,824,081	12,016,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,581,090	4,976,049
売上原価	2,820,194	3,635,872
売上総利益	760,896	1,340,177
販売費及び一般管理費	667,655	740,600
営業利益	93,240	599,577
営業外収益		
受取利息	280	470
受取配当金	201	508
受取賃貸料	6,077	5,926
その他	3,757	3,057
営業外収益合計	10,317	9,963
営業外費用		
支払利息	5,335	5,538
売上割引	2,128	7,244
為替差損	22,319	5,065
賃貸物件関係費	1,139	10,113
その他	4,065	2,062
営業外費用合計	34,988	30,025
経常利益	68,569	579,515
特別損失		
固定資産除却損	9	179
特別損失合計	9	179
税金等調整前四半期純利益	68,560	579,336
法人税、住民税及び事業税	15,324	68,423
法人税等調整額	△14,820	△54,789
法人税等合計	503	13,634
四半期純利益	68,056	565,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,056	565,702

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	68,056	565,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,270	△273
為替換算調整勘定	△23,691	14,474
退職給付に係る調整額	△3,447	△2,626
その他の包括利益合計	△38,409	11,574
四半期包括利益	29,647	577,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,647	577,277

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,560	579,336
減価償却費	55,413	55,874
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,841	△4,799
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△41,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	46,890	91,286
製品保証引当金の増減額(△は減少)	36,000	△2,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	34,700	△1,720
受取利息及び受取配当金	△482	△979
支払利息	5,335	5,538
売上債権の増減額(△は増加)	△1,295,914	△1,035,176
たな卸資産の増減額(△は増加)	△562,153	△334,233
未収消費税等の増減額(△は増加)	△51,166	47,831
仕入債務の増減額(△は減少)	975,934	1,424,540
未払消費税等の増減額(△は減少)	618	87,418
その他	64,447	38,201
小計	△618,974	910,121
利息及び配当金の受取額	484	980
利息の支払額	△5,901	△5,600
法人税等の支払額	△13,934	△23,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	△638,326	881,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,203	△1,203
有形固定資産の取得による支出	△837	△32,343
無形固定資産の取得による支出	-	△24,650
その他	-	△688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,040	△58,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000	41,131
配当金の支払額	△61	△122,469
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,857	△6,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	345,081	△88,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,687	8,995
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△302,973	743,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,316,138	1,407,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,013,165	2,150,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,668,422	912,667	3,581,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,413	4,578	24,991
計	2,688,836	917,245	3,606,081
セグメント利益	246,145	207,622	453,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	453,768
セグメント間取引消去	5,976
全社費用(注)	△366,503
四半期連結損益計算書の営業利益	93,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,079,678	896,371	4,976,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,502	19,879	26,381
計	4,086,180	916,250	5,002,431
セグメント利益	819,187	197,580	1,016,767

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,016,767
セグメント間取引消去	524
全社費用(注)	△417,714
四半期連結損益計算書の営業利益	599,577

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	775,660	118.7
光学装置	922,826	65.5
電子部品装置	2,381,192	414.7
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,079,678	152.9
サービス事業		
部品販売	478,280	113.4
修理・その他	415,572	84.9
サービス事業計	893,853	98.1
合計	4,973,531	138.9

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	483,714	79.2	466,235	111.3
光学装置	915,640	68.3	995,548	74.5
電子部品装置	3,214,953	308.8	2,489,755	269.6
その他装置	123,500	191.4	123,500	95.2
真空技術応用装置事業計	4,737,807	155.0	4,075,039	145.1
サービス事業				
部品販売	480,798	113.7	—	—
修理・その他	415,572	84.9	—	—
サービス事業計	896,371	98.2	—	—
合計	5,634,179	141.9	4,075,039	145.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	775,660	118.7
光学装置	922,826	65.5
電子部品装置	2,381,192	414.7
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	4,079,678	152.9
サービス事業		
部品販売	480,798	113.7
修理・その他	415,572	84.9
サービス事業計	896,371	98.2
合計	4,976,049	139.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。